

2021年度 公益社団法人守山青年会議所理事長所信（案）

2021年度理事長

北村 拓士

歩む

～新たな50年へ KICK OFF～

2020年、世界は新型コロナウイルス感染拡大という未曾有の災禍に見舞われ、世界中で多くの感染者や死者を出す事となった。人々の動きが止まり、経済が止まり、景気の悪化、雇用・所得の悪化と収束が見えないコロナウイルスにより人々の生活に大きなダメージを与えるとともに、新たな生活様式の実践が必要とされるようになった。日本においても、緊急事態宣言が発動され、感染拡大防止と経済活動を両立させなければいけない状況下で、東京オリンピック・パラリンピックが延期となるなど、これからも決して楽観視出来ない状況が続いている。このコロナ禍において青年経済人の集まりである私達、守山青年会議所は何をするべきだろうか。

答えは一つ「歩みを止めず、時代に即したJC運動・活動を展開する事」である。

昨年、守山青年会議所は創立50周年を迎えることが出来た。先輩諸兄から受け継がれた50年の歴史と伝統を感じながら、コロナ禍においても歩みを止めず、JC運動・活動を展開した。また長期活動指針「C-Link Creation」に替わる新たな中期ビジョンが策定され、今後5年間、そしてさらにその先を見据えた活動が必要となってくる。しかし、51年目を迎える本年度は少人数で経験の浅いメンバーが多い組織となり、公益社団法人としての組織運営、財政面においても非常に厳しい状況である。先輩諸兄から受け継がれたこの50年の歩みを、自信と誇りの溢れる魅力ある団体として次代に繋ぐ為、あらゆる可能性を排除せず、時代に即したJC運動・活動を展開し、思い描く未来のため一歩一歩確実に歩みを進めることが必要となる。

<組織・運営>

2021年度の組織運営は、今までと同等な運営をしては体制的にも予算的にも成り立たない。その上で知識や経験の少なさから目の前の業務に追われるだけでは、組織として前に進む事はできない。しかし、こうした現実を悲観的に捉えず、むしろ時代に即した組織へ改革できる絶好の機会だと考えたい。会員同士の繋がりを深め、分からない事は

話し合い、固定観念を持たず、形式ではなく本質を理解し活動しよう。そうする事により経験の少なさを強みとして生かし、組織を前に進め、まちの為、自分たちの為にワクワクするような活動をしよう。

<会員拡大>

守山青年会議所は、50年の歴史の中で多くの影響をまちに与え、多くのまちのリーダーを輩出すべく活動をしてきた。この守山青年会議所の歩みを止めない為、そしてより効果のある運動展開を行うには会員拡大は必須である。多くのメンバーでのJC運動・活動はより多くの影響をまちに与えるだけでなく、メンバーの更なる知見を深め、新たな自己研鑽や人としての成長につながり、そして組織の魅力となる。その為、本年度の拡大活動は昨年掲げた「我々（現役メンバー、シニアクラブ、特別会員、守山を思うたくさんの市民や企業）」による拡大活動を行う。私が会員拡大のリーダーとなり、執行部及び各委員会で目標を定め、日々の活動の中で都度進捗を報告・共有し進めていく。そして多くの方から情報を頂き、メンバーと一緒に足を運び、魅力を伝え会員拡大に繋げる事により、我々での拡大活動が組織力の向上につながり、更なる守山青年会議所の発展となるであろう。

<魅力向上・発信>

守山青年会議所にとってメンバー自身が大きな一つの魅力である。まちにとって地域の行事は大きな一つの魅力である。本年度は、この二つの魅力を磨き、発信することを守山青年会議所の活動の柱とする。

メンバーの魅力向上においては例会を通じて学びの場とし、青年会議所に関する事や、SDGsに関する事を毎月の例会において学んでいこう。どのような学びとするのかを考え、メンバーの成長を願い、1年間を通して大きな学びの場として欲しい。日々の活動だけでは得ることが出来ない学びは、メンバーにとって更なる成長へと繋がり新たな守山青年会議所の魅力となる。

まちの魅力発信においては、地域の行事にただ参加するのではなく能動的に活動し、その行事を積極的に発信することによりまちの魅力をより多くの人へ伝えよう。それは守山青年会議所の認知度向上にも繋がり、共に活動する仲間が増え、そしてまちの為に活動する人々の増加となり、更にまちの魅力となりもりやまの発展へと繋がる。

<50周年記念事業>

昨年、新型コロナウイルス感染拡大防止の為予定していた50周年記念事業を行う事が出来なかった。その為、本年はコロナ禍においても実行できる周年事業を開催する。コロナ禍においての開催は、今後の守山青年会議所の一つの可能性となり、そして事業を通して得る学びはメンバーの更なる成長へと繋がり、新たな50年への第一歩となるであろう。

う。今日まで繋いで頂いた先輩諸兄に感謝するとともにこれからの守山青年会議所の未来へ繋がる魅力的な記念事業となるよう、全メンバーで一丸となり創り上げようではないか。

<結びに>

50周年を迎え新たに作成した中期ビジョンを基に、日々、運営方法を模索し、組織を見直し、会員を拡大する。やる事は明確であるが実行し、結果を出すことは容易ではない。ただ、これらをやりとげるのは私達の強い信念とそれに共感する我々の団結である。今までの当たり前が当たり前では無くなっている現代において、これをチャンスと捉え、あらゆる可能性を信じ、一人一人の魅力を掛け合わせ、思い描く未来に向かって歩いて行こう。

基本理念

- ・中期ビジョンの実現に向けた確実な歩み
- ・時代に即したJC運動・活動の展開

運営方針

- ・次代へ繋ぐ組織基盤・財政基盤の強化
- ・我々による会員拡大
- ・魅力的な50周年記念事業の開催
- ・例会を通じてのメンバーの魅力向上
- ・参画事業を通じてまちの魅力発信
- ・出向者支援と各種大会への積極的な参加